

第 83 回 空間研究小委員会研究会

人口減少時代の都市空間論

都市計画は従来、国や自治体によるトップダウン型の手法を採ることでわが国の発展を支えてきたが、人口減少・少子化・高齢化社会に突入した現在、ボトムアップ型のまちづくりが盛んに議論され始めている。人が生活する都市空間においてインフラストラクチャは必須要素であるため、ボトムアップのみでまちづくりを行うには困難を伴うが、ここ 30 年においてもコンパクトシティ・スマートシティといった人口減少時代の新しい都市計画の概念が提唱され、実空間都市においても実行され始めている。国に頼らない自治体独自のまちづくりによって都市を集約することは可能であるのかを都市空間的視点から議論したい。

本シンポジウムは、コンパクトシティ・スマートシティに関連する研究者・実務者を招き、今後の都市計画・まちづくりにおける新しい手法や施策、最先端の試みについて講演し、討議を通じて都市空間やその構造の変革の可能性について探求することを目的とする。

主 催：建築計画委員会 計画基礎運営委員会 空間研究小委員会

日 時：2018 年 1 月 26 日（金）13：30～17：00

会 場：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

<プログラム（予定）>

はじめに：鈴木 弘樹（主査：千葉大学）

主旨説明：宗政 由桐（東京電機大学）

話題提供

1. 都市のたたみ方 饗庭 伸（首都大学東京）
2. 都市形成の数理解析 本間 裕大（東京大学）
3. 専門家・地域・行政の関係の再構築による都市空間ガバナンスの可能性
三牧 浩也（UDCK | 柏の葉アーバンデザインセンター）
4. コンパクトシティのオルタナティブ 大野 秀敏（東京大学名誉教授）

質疑・討論

まとめ：佐藤 将之（早稲田大学）

司 会：宗政 由桐（前掲）

参加費：会員 1,000 円、会員外 2,000 円、学生 500 円（資料代含む／当日会場払い）

定 員：200 名（申込み先着順）

申込方法：<http://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=612771> よりお申し込みください。

申込問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 榎本

TEL：03-3456-2051 E-mail：enomoto@aij.or.jp